

【目次】

1. 日本労働会館臨時理事会を開催、9月28日！
2. 友愛労働歴史館が月刊『連合』10月号（渋沢栄一特集号）に登場しました！
3. 教育文化協会から『連合運動史第6巻』の寄贈を受けました、10月11日！

1. 日本労働会館臨時理事会を開催、9月28日（火）！



一般財団法人日本労働会館（宮本礼一理事長）は9月28日（火）午後、友愛会館9階会議室で臨時理事会を開催しました。

理事会は徳田孝蔵理事の開会挨拶、宮本理事長による理事会挨拶を受けた後、滑川太一業務執行理事による理事報告を行いました。続く3つの事業報告では①友愛労働歴史館事業報告を間宮友愛労働歴史館事務局長が、②労使関係研究協会事業報告を滑川事務局長が、そして③三田会館宿泊事業報告を菊池正範総務部長が行いました。

その後、第1号議案「一般財団日本労働会館事業に関する件」、第2号議案「収益事業の事業運営に関する件」について審議し、提案通りに確認しました（詳細略）。この後、日本労働会館第2回理事会を11月10日（木）に開催することを確認し、臨時理事会を終えました。

2. 友愛労働歴史館が月刊『連合』10月号（渋沢栄一特集号）に登場しました！



友愛労働歴史館が連合（日本労働組合総連合会）の機関誌・月刊『連合』10月号（NO.390）で紹介されました。月刊『連合』10月号は「渋沢栄一×労働組合」の特集を行っており、当歴史館も事前取材を受けていました。

これは当歴史館が2019年に協調会結成100年を記念した企画展「協調会結成100年—渋沢栄一と鈴木文治・友愛会—」（2019.7.4～12.24）を開催していたことによります。

月刊『連合』10月号は「渋沢栄一と労働組合の数奇な関係」のタイトルで4頁に亘って「渋沢栄一×労働組合」論を展開し、渋沢と労働組合をつないだものは「労使は人格において対等であるという『人格主義』の考えが根底にあった」からと纏めています。

3. 教育文化協会から『連合運動史第6巻』の寄贈を受けました、10月11日（月）！



友愛労働歴史館はこの程、公益財団法人・教育文化協会（南雲弘行理事長）より『連合運動史第6巻』の寄贈を受け、当館書庫（左写真）に収蔵しました。また、旧同盟関係者から社会運動関連資料の寄贈を受けました。

-----「人間の尊厳、進歩と発達のために」-----

発行：友愛労働歴史館

責任者：徳田 孝蔵

担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

TEL.050-3473-5325

Eメール yuairodorekishikan@rodokaikan.org

HP <http://www.yuairodorekishikan.com>

-----惟一館から127年、友愛会から109年-----